

今号の作業

リヤタイヤを取り付ける



今号では、24号で提供したリヤホイールにリヤタイヤを取り付ける。サイズはもちろん、トレッドパターンも忠実に再現されているので、フロントタイヤとの違いを比べるのも楽しいだろう。

今号のパーツ



・リヤタイヤ×1

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

使用する道具

- ・グリス(6号で提供し、保管しておいたもの)
- ・ペーパータオル(ティッシュペーパーはお勧めしない)
- ・台所用中性洗剤と洗浄用スポンジ

用意するもの

- ・リヤホイール
(24号で提供し、保管しておいたもの)



STEP 1
台所用の中性洗剤を使い、タイヤをしっかりと洗う(本シリーズ3号の組み立てガイド参照)。フロントタイヤと違い、リヤタイヤは組み立て後の脱着が面倒なので、現時点で洗うことをお勧めする。



STEP 2
ペーパータオルを使い、タイヤ内側の水分をしっかりと拭き取っておく。ティッシュペーパーは細かいホコリが付着してしまうので、代用には不向きだ。



STEP 3
続いてトレッド面の水分を拭き取る。ペーパータオルを強く押し付け、トレッドパターンの中に入り込んだ水分を吸い取るようにする。



STEP 4
24号で提供したリヤホイールを用意し、各部に損傷や汚れがないかを確認。

STEP
5

リヤタイヤを少しめくり、リヤホイールをはめ込んでいく。リヤタイヤに左右の向きはないので、どちらの面からはめ込んで構わない。

STEP
6

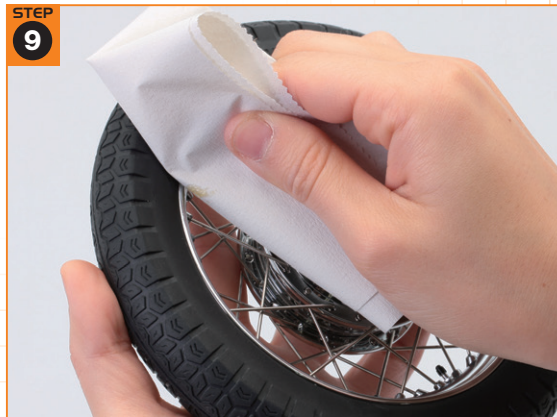
リヤタイヤのラバーは少し厚いので、はめ込む時に多少の力が必要。最初にはめ込んだ箇所を起点に、少しずつはめ込んでいく。

STEP
7

タイヤがホイールの「リム」からはみ出したり、すき間が開いてしまった場合は、タイヤの側面を指で押しながら修正する。ホイールのリム部分に傷を付けないよう注意しよう。

STEP
8

ペーパータオルを折りたたみ、少量のグリスを塗布する。これはタイヤ表面の劣化を防ぐ「タイヤワックス」の代用だ。

STEP
9

タイヤの表面全体に、薄くグリスを塗り広げる。表面保護が目的なので、触ってもベタベタしない程度で十分だ。なお、トレッドパターンの溝は歯ブラシなどを利用して仕上げるとよい。また、ホイールに付着した場合は拭き取る。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。フロントタイヤとは異なり、重量感溢れる仕上がりが魅力だ。組み立てたパーツは次回の作業に備え、大切に保管しておこう。